

チンアナゴのひみつがわかったよ

岡山市・芳泉小1年 與曾井 美希



わたしがなつやすみのしゅくだいをしていたとき、となくでおかあさんがしんぶんをよんでいました。チラッと見たら、かわいいチンアナゴのきじでした。わたしはかん字がよめないから、おかあさんとよみました。

まえ、テレビでチンアナゴを見て、どうしてみんな、おなじところを見ているのかな？と、ふしぎにおもっていました。しんぶんに、「ながれにのってきたプランクトンをたべるために、みんながおなじほうこうにおをむけていゝ」とかいてありました。ごはんをたべるため、とわかってうれしかったです。

ほかに、「チンアナゴと

いなまえば、かおが犬のチンにしているからつけられた」とかいてありました。いえにあるずかんで、犬のチンをしらべました。ほんとうにくりくりしたまあるい目がそっくりで、とってもかわいとおもいました。

チンアナゴは、えいごで「ガーデンイル」ということもわかりました。わたしはえいごがとくだから、ガーデンは「にわ」、イルは「ウナギのことだとおもいました。日本ごでは「アナゴ」で、えいごでは「ウナギ」だから、どっちが正しいのかな、とおもいました。おかあさんにきくと、

「てんまや水ぞくかんでしら

べてみよう。」
つぎのつぎの日の八月三日に、てんまや水ぞくかんにいきました。わたしはとてもワクワクしていたから、すぐにチンアナゴのばしょにいきました。そこには、なんと、「ウナギ目アナゴか」とかいてありました。けっきょく、ウナギなのかアナゴなのかわかりません。おかあさんが、

「ウナギのなかまの中の、アナゴのなかま、っていついみよ。」と、おしえてくれました。日本ごもえいごも大正かい、ということがわかりました。わたしは、チンアナゴのことがくわしくなって、もっときになりました。

親子で楽しむ自然体験学習 親子で楽しむ自然体験学習 親子で楽しむ自然体験学習

高知県から琉球列島などの南日本・インド洋、西太平洋に分布するアナゴの仲間です。流れの速いサンゴ礁の砂底などに群れをなして生息し、常に頭を出して体は砂の中に埋めています。

流れに乗ってきたプランクトンを捕食するため、みんなが同じ方向に顔に向けてゆらゆらしています。

① チンアナゴ



同じ方向見てゆらゆら

「てんまや冒険水族館 いきもの神秘といやし」の海は午前10時〜午後6時(最終日は同5時まで)。入場料は中学生以上800円、3歳〜小学生600円。

とからつけられています。屋岡山店6階(川合館)2F。英名は「ガーデンイル」、23日に開かれる親子で「アール」。顔を砂から出す。夏休み自然科学教室「アール」が、庭の植物が育つ。てんまや冒険水族館、いきもの神秘といやし(海)山陽放送、山陽新聞社主催。

講師：山本俊政

岡山理科大学工学部 准教授の山本俊政さん、ペトランドガリパー和歌山県田辺市)代表の橋本直人さんに、ユニークな生き物の生態を紹介してもらった。(26面関連)

2017年8月1日付 山陽新聞

アナゴの仲間「チンアナゴ」を紹介した記事を読み、楽しみながら興味を深めていく様子が分かります。

寸評

疑問点を図鑑で調べたり、実際に水族館に見に行ったりした体験を盛り込んでいます。

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。